

議案第 2 3 号

令和 7 年度 1 2 月補正予算案について

令和 7 年度補正予算（1 2 月）案について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 3 1 年法律第 1 6 2 号）第 2 9 条の規定により、教育委員会の意見を聴取する。

令和 7 年 1 2 月 1 9 日提出

静岡市長 難 波 喬 司

（教育委員会事務局教育局教育総務課）

記

- 1 補正予算の概要 別紙「事業の概要」のとおり

事業の概要

(単位:千円)

課名	施策・事業 (款-項-目)	予算額 ()内は、 補正前予算額	内容等
教育局			
学 校 給 食 課	学校給食費負担軽減事業 (学校給食費負担軽減事業 ほか) (10-6-8)	37,100 (464,000)	<p>(事業内容) 市立小中学校の学校給食における米飯価格の値上がり相当分を負担</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者数 ①小学校(81校) 児童:約28,000人 教職員等:約2,400人 ②中学校(43校) 生徒:約14,000人 教職員等:約1,100人 <p>・公費負担額 ①小学校 25円/食 (値上がり分) ②中学校 31円/食 ※教職員等の値上がり分は、実費を徴収する。</p> <p>【特定財源】 物価高騰対応重点支援 34,272 地方創生臨時交付金 諸収入 2,828</p>

報告第12号

教育長定例記者会見について

教育長定例記者会見について、次のとおり報告する。

令和7年12月19日提出

静岡市教育委員会
教育長 中村百見
(教育委員会事務局教育局教育総務課)

記

- 1 内 容 別紙のとおり
- 2 報告理由 令和7年12月23日に教育長定例記者会見を実施するため、報告する。



教育長定例記者会見

とき：2025年12月23日（火）

午前11時から

ところ：市役所静岡庁舎8階 市長公室

1. 令和6年度問題行動・不登校等諸課題に関する調査結果について
【児童生徒支援課】
2. 静岡市立図書館のイベントのお知らせ
【中央図書館】

次回の予定 2月24日（火）午前11時から

「令和6年度問題行動・不登校等諸課題に関する調査結果」について

1 要旨

「令和6年度問題行動・不登校等諸課題に関する調査」は令和6年度末に実施され、今年10月末に結果が報道されました。今回、全国の状況及び静岡市の状況と課題、今後の取組について、①暴力行為②いじめ③長期欠席（不登校）について報告します。

2 令和6年度問題行動・不登校等諸課題に関する調査について

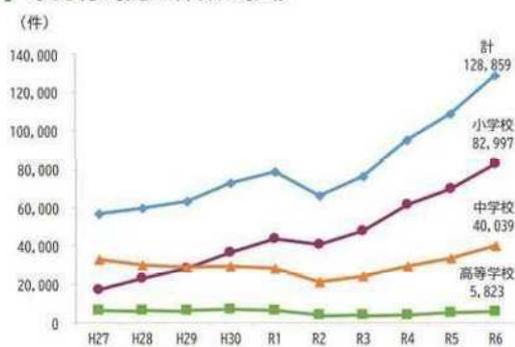
「問題行動・不登校等諸課題に関する調査」とは、文部科学省が全国の国・公・私立の小・中・高等学校等を対象に、毎年実施している統計調査です。日本の学校教育における「生徒指導上の課題」の現状を把握する最も基本的なデータとして、教育政策の策定や予算措置の根拠として活用されています。調査される主な項目は、暴力行為、いじめ、長期欠席（不登校）、中途退学、自殺などについてです。

3 全国の状況について

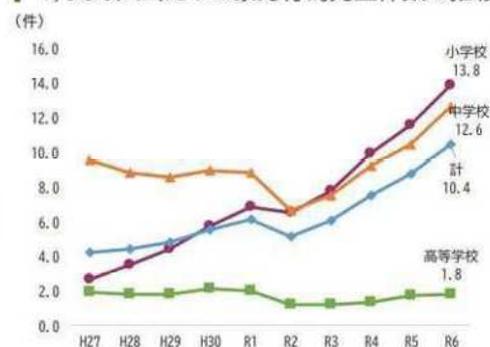
(1) 暴力行為

小・中・高等学校における**暴力行為の発生件数**は、令和5年度の108,987件に対し、令和6年度は128,859件であり、前年度から19,872件（18.2%）増加し、**過去最多**となりました。児童生徒1,000人当たりの発生件数は令和5年度の8.7件に対し、令和6年度は10.4件で、令和2年度に一旦減少しましたが、その後4年連続増加しています。

暴力行為発生件数の推移



1,000人当たりの暴力行為発生件数の推移

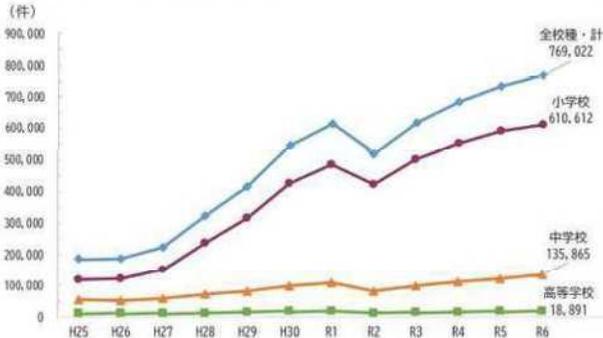


(2) いじめ

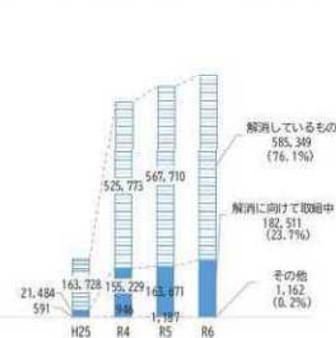
小・中・高等学校及び特別支援学校における**いじめの認知件数**は、令和5年度の732,568件に対し、令和6年度は769,022件であり、前年度から36,454件（5.0%）増加し、**過去最多**となりました。児童生徒**1,000人当たりの認知件数**は、令和5年度の57.9件に対し、令和6年度は61.3件で、令和2年度に一旦減

少しでしたが、その後4年連続増加しました。いじめの解消率については、令和5年度(77.5%)に比べて令和6年度はやや低下(76.1%)しました。

いじめの認知件数の推移



いじめの解消状況の推移(各年度末時点)

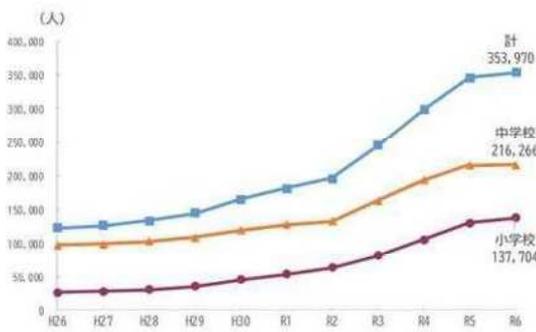


(3) 長期欠席のうち不登校

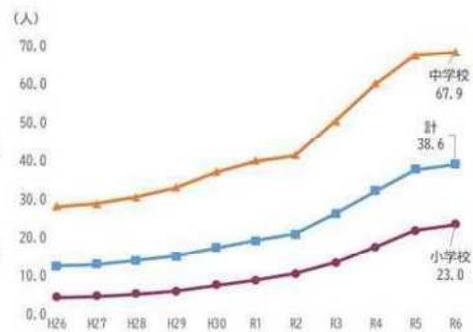
不登校児童生徒数は、小・中学校全体で令和5年度の346,482人に対し、令和6年度は353,970人と過去最多となったものの、増加率は小・中学校全体で令和5年度の15.9%に対し、令和6年度は2.2%であり、前年度と比較して低下し、特に中学校の増加率は小さくなりました。また、学年別に見ると、小学校1年生、中学校2年生の不登校児童生徒数は前年度から減少しました。

不登校児童生徒のうち、新規不登校児童生徒は小・中学校ともに減少しました。また、不登校継続率も小・中学校ともに低下しました。不登校児童生徒数全体の増加率は前年度より低下したものの、不登校児童生徒数が減少する水準には至っていないという結果でした。

不登校児童生徒数の推移

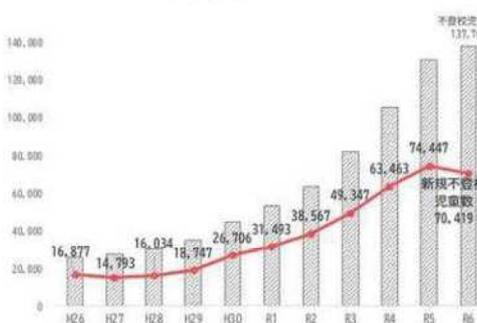


1,000人当たりの不登校児童生徒数の推移

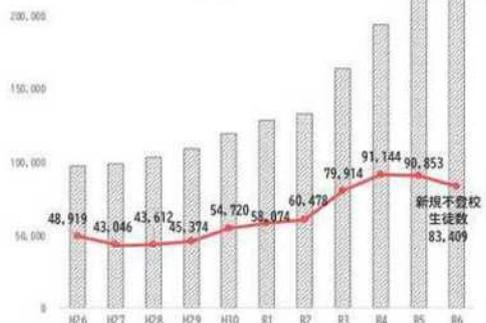


新規不登校児童生徒数の推移

小学校



中学校



4 静岡市の状況と課題、今後の取組について

(1) 暴力行為

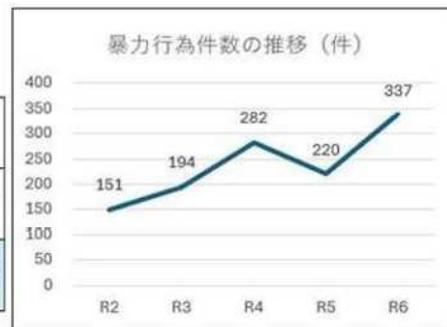
①状況

市立の2高校を含む静岡市立小・中・高等学校における生徒間暴力や器物損壊等の暴力行為の発生件数は、令和5年度の220件に対し、令和6年度は337件であり、前年度から117件（53.2%）増加しました。児童生徒1,000人当たりの発生件数は、令和5年度の4.8件に対し、令和6年度は7.5件で、令和4年度に対し、令和5年度に一旦減少しましたが、令和6年度では大きく増加し、過去5年間で最も多い件数となりました。

全国との比較については、1,000人当たりの発生件数は全国が10.4件であることから、全国よりも低い発生率となっています。

静岡市 暴力行為件数と1,000人当たりの発生件数の推移（件）

	R2	R3	R4	R5	R6
小・中・高	151	194	282	220	337
1,000人当たり	3.1	4.1	6.0	4.8	7.5



②これまでの取組と課題

これまで、自分の思いや考えを言葉や表情で表現したり、他者の思いや考えを受け止めたりする力を育てる教育実践を行ってきましたが、コロナ禍の影響もあり、自分の感情を言葉ではなく、暴力行為等で表してしまう児童生徒が増えている傾向にあります。

③今後の取組

暴力行為等を未然に防ぐことを目的に、アンガーマネジメント教育やSOSの出し方教育、ソーシャルスキルトレーニング等、セルフコントロールや人間関係作りの能力を高める教育実践に一層力を入れます。

加えて、暴力行為を行う児童生徒の抱える悩みや問題などの背景について、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の心理や福祉の専門家と連携し、チーム学校で指導・支援をする体制を一層強化し、問題行動の早期発見・早期対応を今後も心掛けます。

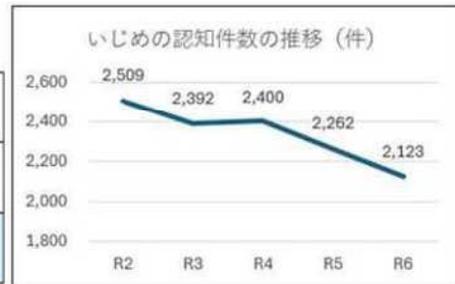
(2) いじめ

①状況

いじめの認知件数は、**令和2年から減少傾向**にあり、**過去5年間では最も少ない結果**となりました。1,000人あたりのいじめの認知件数で見ると、**47.2件**となっており、**全国の61.3件よりも下回りました**。

静岡市 いじめの認知件数と1,000人当たりの発生件数の推移（件）

	R2	R3	R4	R5	R6
小・中・高 特別支援学校	2,509	2,392	2,400	2,262	2,123
1,000人当たり	52.2	50.3	51.3	49.3	47.2



②これまでの取組と課題

これまで、学校では、いじめの未然防止・早期発見を推進するため、「いじめの定義」や「学校いじめ対策基本方針」を教職員内で年度ごとに確認し、正しい定義での対応を共有すること、被害者の気持ちを第一に考えた対応や「報告・連絡・相談」体制を徹底すること、教職員一人の判断で「いじめではない」と決めつけることのないような体制を徹底すること等に、力を注いできました。

その効果もあり、いじめの認知件数は減少傾向にありますが、SNS上のいじめなど、見えづらく解消しにくい事案に関しては、増加傾向にあります。

③今後の取組

増加している SNS 上でのいじめを未然に防ぐために、警察や、各機関が行っている、SNS の使い方やネットモラルに関する出前授業や講座を、各小中学校の教育活動に位置付け、積極的に活用していきます。

併せて、入学式や授業参観時等、様々な機会でも保護者に対しても啓発していきます。

(3) 長期欠席のうち不登校

①状況

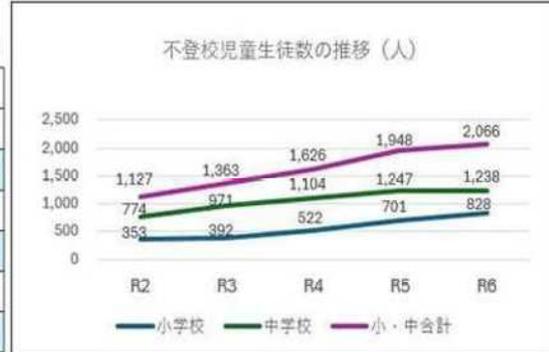
本市の不登校者数は、小学校では令和5年度 701 人に対し、令和6年度は 828 人、中学校では令和5年度 1,247 人に対し、令和6年度は 1,238 人、合計は令和5年度 1,948 人に対し、令和6年度は 2,066 人でした。小学校では前年度から127人増加（18%増加）し、中学校では9人減少（1%減少）しました。中学校においては3年ぶりに減少に転じましたが、小学校の不登校者数が毎年増加していることで、令和6年度の小中学校の不登校者総数は**過去最多の人数となりました**。

1,000人あたりの不登校発現者数で見ると、**小学校は令和5年度の23.6人に対し、令和6年度は28.6人、中学校は令和5年度も令和6年度も86.0人**でした。

小学校、中学校いずれも全国を上回っており、特に中学校の不登校発現率が高くなっています。

静岡市 不登校児童生徒数と1,000人当たりの不登校児童生徒数の推移（人）

	R2	R3	R4	R5	R6
小学校	353	392	522	701	828
1,000人当たり	11.2	12.6	17.1	23.6	28.6
中学校	774	971	1,104	1,247	1,238
1,000人当たり	53.1	66.1	75.8	86.0	86.0
小・中合計	1,127	1,363	1,626	1,948	2,066
1,000人当たり	24.4	29.8	36.1	44.1	47.7



②これまでの取組と課題

これまで、学校では、不登校を未然に防ぐ取組として、教育相談体制の充実や学級や学校の心理的安全性を高める取り組み、一斉教授型の授業だけではなくICTを活用した個別最適な学びやグループ学習を通じ、学習の遅れによる不安解消等、様々な取組を行っています。

また、不登校になっている児童生徒への支援として、教職員の家庭訪問等に加え、リモートでの授業環境を整えることや、サポートルーム等の別室での個別対応、静岡県教育委員会が主管する不登校児童生徒向けのバーチャルスクールを活用した支援等を行っています。

一方、児童生徒が不登校になる背景には、心理的・身体的なものから社会的なものまで複雑に絡み合っている現状や、起立性調節障害などの医療的な理由で長期欠席している児童生徒について、教職員の理解が不十分な現状があります。それらを踏まえ、不登校になっている児童生徒に対し、個別の柔軟な対応をさらに広めていく必要性があります。

③今後の取組

遅刻が増えてきているなど、不登校になる兆しがある児童生徒に対し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも連携し、その背景を心理的・社会的に見立て、チーム体制で対応をより一層進めます。

また、起立性調節障害など、医療的な理由から長期欠席している児童生徒に対しては、その症状について教職員が理解を深めるとともに、医療・保護者と連携しながら適切に対応していきます。

加えて、静岡市には校外で生活及び学習に係る相談及び指導等を行う「静岡市教育支援センター」として、葵区にはふれあい教室、駿河区にはかがやく教室、清水区にははばたく教室が設置されていますが、これらの教室の機能をより一層

高め、不登校児童生徒の支援を充実させることができるよう、来年度に向けて整備していきます。

また、不登校生徒の新たな受け入れ先の1つとして、不登校生徒を対象とした「学びの多様化学校」を「未広中学校分教室※」として令和8年度に開校し、柔軟なカリキュラム等の実践事例を静岡市立の中学校に共有を図るなど、新たな取組を行っていきます。

※未広中学校分教室への入学・転入学の申請者数及び入学予定者の決定については、別紙をご確認ください。

静岡市では、これらの調査結果や分析を踏まえ、これからも、子どもたちが安心・安全に学校生活を送れるよう、問題行動や不登校の未然防止・早期発見・早期対応に努めていきます。

担当：教育局 児童生徒支援課(054-354-2533)

別紙 学びの多様化学校「静岡市立未広中学校分教室」
入学・転入学の申請者数及び入学者予定者の決定について

1 要 旨

不登校児童生徒に対し、その実態に配慮して特別に編成された教育課程に基づく教育を行う、学びの多様化学校「静岡市立未広中学校分教室」の2026年4月開校に向けた準備を進めています。

11月17日（月）から12月5日（金）まで申請を受け付け、52名の入学希望者の方から申請がありました。今後、入学者検討委員会で2026年度の入学・転入学者を決定します。

2 入学申請者数

学年	申請者数
小学6年生（2026年4月時点で中学1年）	31
中学1年生（2026年4月時点で中学2年）	7
中学2年生（2026年4月時点で中学3年）	14
合計	52

3 入学者予定者の決定について

（1）入学予定者の決定方法

静岡市教育委員会内に設置される入学者検討委員会において、以下要件と学びの多様化学校への適性について検討

（2）入学・転入学の要件

- ① 2026年4月1日時点で市内在住の中学1～3年生であること
- ② 不登校状態である、または不登校の傾向がみられること
- ③ 学びの多様化学校の特徴を理解したうえで未広中分教室に入学し、登校して学ぶことを本人・保護者ともに希望していること

（3）要件についての確認方法

- ア 児童生徒及びその保護者から提出された申請書の内容
- イ 学校から提出された副申書
- ウ 入学者面談

※ 入学者の面談は12月13日（土）同20日（土）に実施済み

（4）入学予定者への通知

2026年1月上旬に保護者へ通知予定

担当：学校教育課(054-354-2522)

～御幸町図書館×静岡市美術館 コラボイベント～

【学芸員によるスライドトーク&司書による読み聞かせ in 御幸町図書館】

1 要旨(目的)

- ・静岡市中心市街地にあるペガサートビルの「静岡市立御幸町図書館」と葵タワーの「静岡市美術館」が協力して、初めてのコラボイベントを行います。
- ・静岡市美術館の展覧会「日本中の子どもたちを笑顔にした絵本作家 かがくいひろしの世界展」開催に伴い、美術館学芸員からは作品の特徴や背景等を紹介し、図書館司書からは作品の読み聞かせを行います。「絵本」という共通点からそれぞれの専門性を生かして企画した連携イベントです。
- ・近隣施設の連携協働による文化振興や読書のまちづくり、市民の皆さんに「本」に接する新しい機会の提供、美術館と図書館の利用者の増加など、地域活性化につなげていきます。

2 イベント概要 (チラシをご覧ください。)

(1)日 時 令和8年1月28日(水・休館日) 14:00～15:30

※申込は、令和8年1月6日(火) 9:30 から

(2)場 所 静岡市立御幸町図書館5階(葵区御幸町3-21 ペガサートビル)

(3)内 容 ・静岡市美術館学芸員 太田紗世(おおた さよ)氏による、かがくいひろしの世界展観覧のおすすめポイントなどスライドを使っておはなしします。
また、御幸町図書館司書による絵本の読み聞かせや関連本の紹介をします。
・4階児童コーナーに、美術館展覧会関連絵本の特集展示コーナーを設置し、司書が選書した絵本や学芸員のおすすめ本を展覧会開催期間(令和8年1月10日(土)～3月22日(日))に特別展示します。

(4)対象者 どなたでも

(5)定 員 21人

イベント申込はコチラから ➡



(6)参加料 無料

(7)その他 「かがくいひろし」は、累計発行部数1000万部を超え、子どもたちに広く愛される絵本「だるまん」シリーズの作者(1955-2009)。50歳でデビューし、病で急逝するまでのわずか4年間に16冊の絵本を生み出し、特別支援学校の教員の現場経験をもとに誰もが笑顔になれる絵本の制作に情熱を注ぎました。

担当：中央図書館(御幸町図書館 054-251-1868)



御幸町図書館キャラクター
「ライトさん」

御幸町図書館×静岡市美術館 コラボ

静岡市美術館 展覧会
「かがくいひろしの世界展」



**“学芸員”によるスライドトーク &
”司書”による読み聞かせ in 御幸町図書館**

📖 日 時 : 2026年1月28日(水) 14時00分~15時30分 ※図書館休館日

📖 会 場 : 静岡市立御幸町図書館 5階(静岡市葵区御幸町3-21ペガサートビル)

📖 内 容 : ★ 静岡市美術館の学芸員が「かがくいひろしの世界展」〔会期:2026年1月10日(土)~3月22日(日)〕のおすすめポイントや作品の特徴などスライドを使っておはなしします。

★ 御幸町図書館職員が、かがくいひろしさんの絵本の読み聞かせをします。

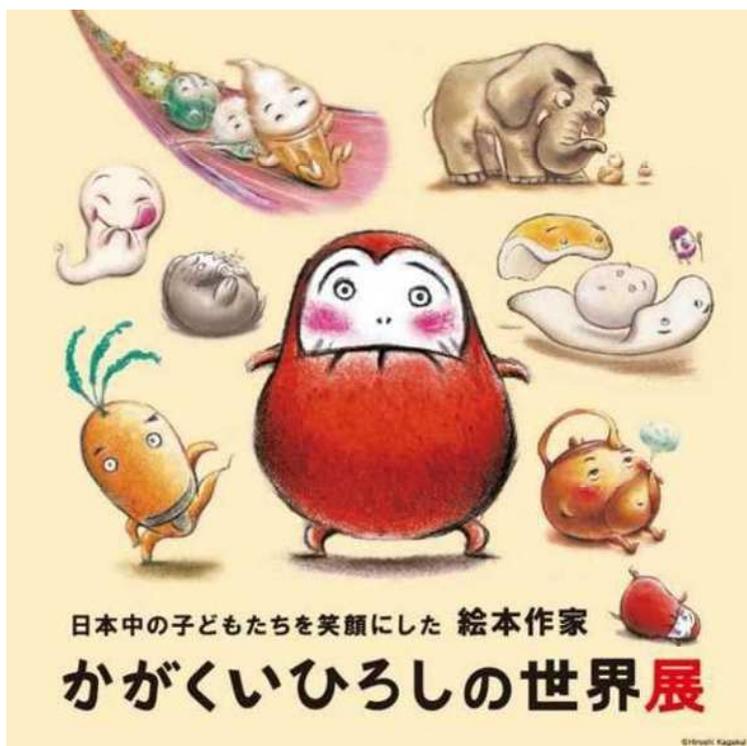
📖 講 師 : 静岡市美術館 学芸員 ^{おみた} 太田 ^{さよ} 紗世氏

📖 参加料 : 無料

📖 定 員 : どなたでも21名

📖 申 込 : 2026年1月6日(火) 9時30分から申込開始! → → →

📖 問合せ : 静岡市立御幸町図書館 ☎054-251-1868



日本中の子どもたちを笑顔にした 絵本作家
かがくいひろしの世界展



まちかどシアター in 中央図書館 人形劇 だってだってのおばあさん

1 要旨(目的)

公園、商店街、広場などいつもの“まちかど”が舞台に早変わりする「まちかどシアター」が図書館にやってくる!! 2025年からはじまった「まちが劇場」の新しいプロジェクト「まちかどシアター」は、誰もが気軽に演劇の楽しさに触れ、まちの新たな魅力を発見できる場です。

世代を超えて愛される不朽の名作「だってだってのおばあさん」を原作とした人形劇団むすび座による人形劇を図書館で初めて実施します。人形劇を楽しんでいただくとともに図書館で実際の絵本を手にとっていただくことで、絵本の世界が広がります。

2 イベント概要 (チラシをご覧ください。)

(1)日 時 令和8年2月22日(日) ①11:00~12:00

②14:00~15:00

- ・①②は同じ内容です(人形劇35分、ワークショップ25分)。
- ・人形劇上演後は、実際に舞台上で使っている“ピノキオの大型人形”を体験できるワークショップも実施します。

※申込は、令和8年1月13日(火) 9:30から

(2)場 所 静岡市立中央図書館2階ホール(静岡市葵区大岩本町29-1)

※公共交通機関をご利用ください。

(3)対象者 どなたでも

(4)定員・参加料 各回80人・無料

(5)その他 人形劇原作の「だってだってのおばあさん」(佐野洋子/作・絵 フレーベル社)は、1975年に出版され、大人から子どもまで広く読み継がれている人気絵本です。作者は、絵本作家の佐野洋子さん(1938-2010)で、12才から18才までの多感な時期を静岡市で過ごしたゆかりのある方です。作品には、「だってだってのおばあさん」のほか、ロングセラー絵本「100万回生きたねこ」(講談社)があります。

イベントの詳細・申込はコチラから →



担当 図書館について : 中央図書館(054-247-6711)

イベントについて : 文化政策課(054-221-1229)



in 中央図書館

まちは劇場
ON
STAGE
SHIZUOKA

人形劇 だっでだっでのおばあさん



げんきなねこの男の子は、いっしょに住むおばあさんを魚つりにさそいます。でもおばあさんは「だっでわたしは、98才のおばあさんだから」とことわってばかり。

今日はそんなおばあさんの99才のたんじょうび。ケーキをつくってお祝いです。ところが…。

大人もこどもも楽しめる、心あたたまる人形劇です。

原作：『だっでだっのおばあさん』（佐野洋子/作・絵 フレーベル館）

ワークショップ

ピノキオの人形を使って“三人遣い”を体験！

むすび座の大型人形を、3人で動かしてみよう！ 頭・胴・手・足、みんなで協力しないと、人形はうまく動いてくれません…。上手にできるかな？



日時：令和 8 年 2 月 22 日（日）

① 11:00～12:00 ② 14:00～15:00

（受付は、各回 30 分前から）

定員：各回 80 名（要申込・先着順・どなたでも）

会場：静岡市立中央図書館 2階ホール

※図書館へは、公共交通機関でお越しください。

参加費
無料

申込

1月13日（火）9:30から
受付開始！

↓詳細はこちらから↓



図書館についての問い合わせ：静岡市立中央図書館 054-247-6711

イベントについての問い合わせ：静岡市文化政策課 054-221-1229